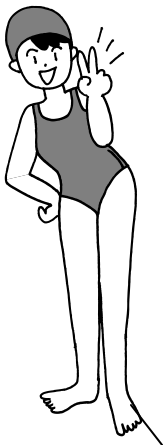
神明コミュニティだより

No.１８
Ｈ２０．６．１２
鯖江市神明小学校

Community ： 深い結びつきをもった共同体。

○プールもきれいになって、水泳学習開始です。



教頭？

６月４日（水）、５・６年生が１年ぶりにプールを掃除してくれました。古いながらもみんなの力できれいになったプールになみなみと水が注入され、９日（月）にはプール開きが行われました。児童会副会長の瀧波慶史さんが、「安全に気をつけながら、少しでも泳力をつけます。」と全校児童を代表し、校長先生に誓いました。

せっかくプールがあるのですから、泳がないなんてもったいない！

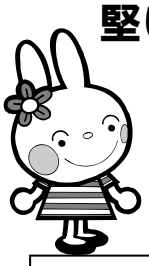
学習計画では、この時期に１０時間程度予定されています。梅雨の時期に重なりますが、精一杯プール学習の機会を作りたいと思っています。

しかし、命にかかわる事故が起きるのもプールです。

安全な水泳学習のために
健康チェックカードで体調チェックを！

朝、おうちの方に体調をチェックしていただき、水泳学習が可能なお子さんだけが入水できます。つまり、健康チェックカードを忘れたり、記入もれがあったりすると、水泳学習に参加できません。

堅いことを言うようですが、命にかかわることだからです。



教頭！

学年だより等で何度もお願いしていますが、やはり忘れてくる子がいます。そんなとき担任は、１軒１軒電話をかけて保護者に確認を取っています。不注意のために水泳の機会を逃させたくないという親心からです。どうぞ、そんな担任の思いをくみ取ってやってください。

○　「業界用語」解説　その１

恥ずかしながら、またまた我が家の出来事です。子どもが小さかった頃、夕飯のテーブルでこんな会話が交わされたことがあります。

母（私）「今日の宿題、終わった？」
娘　　「うん、けいどだけだったから、早かった。」
息子　「いいなあ。俺は、けいどとかんどやぞ。」
父（夫）「なんや、その『けいど』たら『かんど』って？」

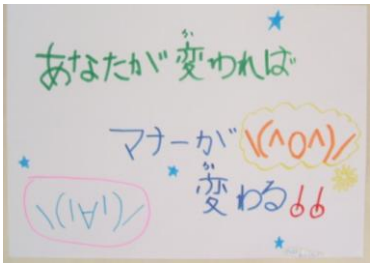
お父さん、お分かりになりましたか。お母さん方なら分かっていただけるでしょ。「計算ドリル」略して「計ド」、「漢字ドリル」略して「漢ド」。夫は、会社員なので通じなかったのです。

このように学校にいる者にとっては当たり前の言葉でも、一般には通じない言葉がたくさんあるようです。№１７に掲載したスクールプランの中に使われている「業界用語」について、少しずつ説明させてもらおうと思います。

今回は、「３－あ－ｗｅｅｋ（ウィーク）」についてご説明します。

これは、子どもたちに、「あいさつ」「あんぜん」「あたたかい心」を意識させようというねらいで、昨年度から指導部が中心となり実施している取り組みです。それぞれの言葉の頭文字「あ」を３つ合わせた命名です。毎月第２週目を「３－あ－ｗｅｅｋ」とし、週末には、子どもたち一人一人がカードをもとにふりかえりを行っています。

「あいさつ」については、毎朝職員が交代で校門に立ち、あいさつ指導を行っています。おかげさまで、地域の方から、「神明の子は元気なあいさつをしてくれる。」というお褒めの言葉をいただいています。

「あたたかい心」については、具体的事例を紹介して子どもたちの意識向上を図っています。この写真は、児童玄関に掲示してあるボランティアの木です。「ハローボランティア」サークルが、あたたかい心の実践事例をかわいいリンゴにして掲示してあります。この隣には、昨年の学年・学級で取り組んだボランティア活動が報告されていて、良い伝統が受け継がれているのを感じます。

ハローボランティアが作ってくれたポスター。Nice!